

通販まるごとソリューション

scro|l

Marketing
Solution
Company



2025年3月期 第2四半期(中間) 決算説明資料

FY2024 Q2 (2024年4月1日～2024年9月30日)

株式会社スクロール

証券コード：8005 (東証プライム)

1. 2025年3月期 第2四半期(中間)決算概要 P.2
2. 中期経営計画 P.13
「Marketing Solution 2026」進捗
3. 2025年3月期 通期業績予想 P.21
4. Appendix P.24
 - ・会社概要
 - ・事業セグメントおよび事業概要
 - ・サステナビリティ推進活動

2025年3月期 第2四半期(中間)決算概要

ハイライト【連結】

- 前年同期対比、増収増益

- 売上高はソリューション事業の成長、利益面ではeコマース事業のリストラ効果が寄与。

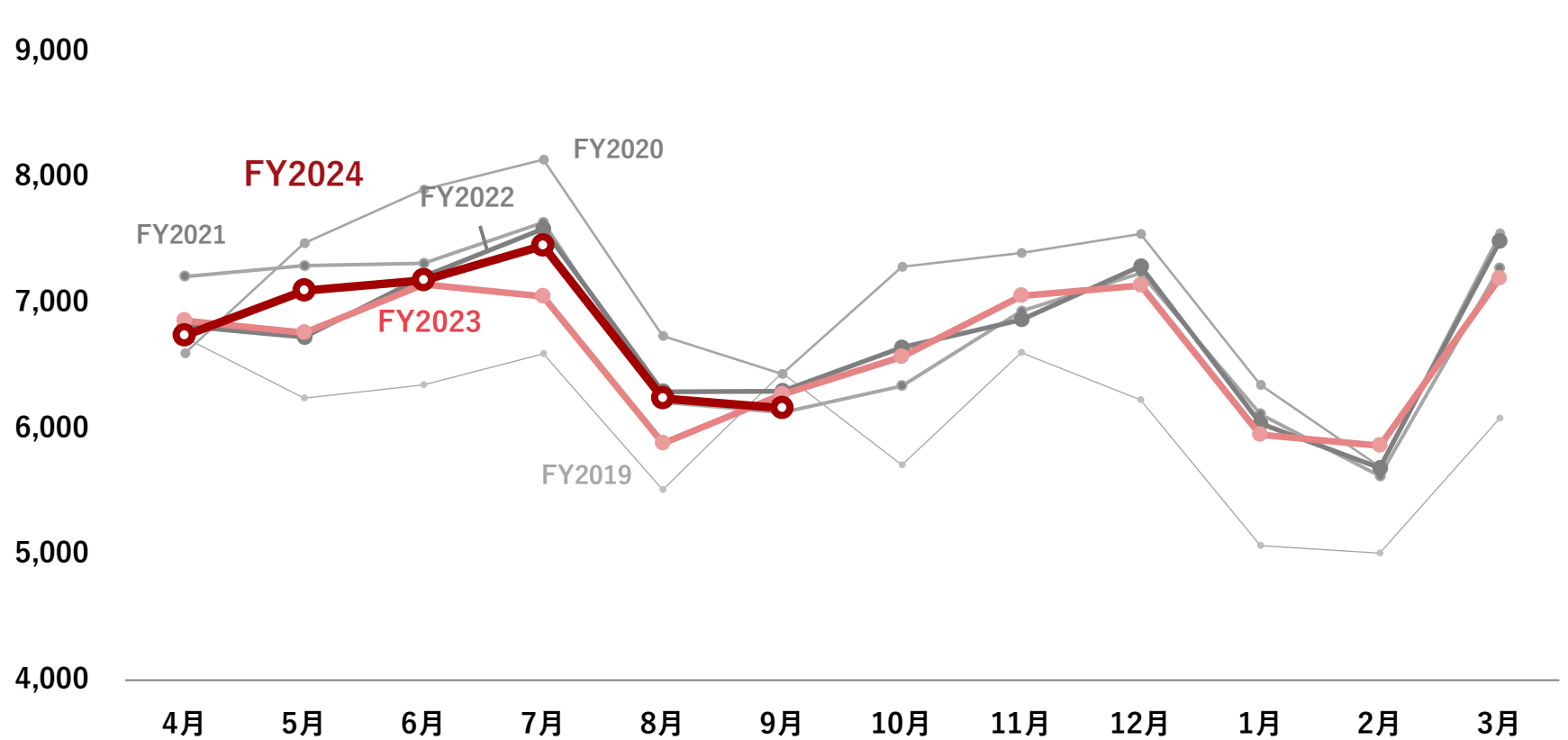
(単位：百万円)

	2024年3月期 第2四半期 実績	2025年3月期 第2四半期 実績	対 前年同期実績	
			増減額	増減率
売上高	40,016	40,914	+897	+2.2%
営業利益 (営業利益率)	3,374 (8.4%)	3,841 (9.4%)	+466	+13.8%
経常利益 (経常利益率)	3,438 (8.6%)	4,075 (10.0%)	+637	+18.5%
親会社株主に帰属する 中間純利益	2,346	2,764	+418	+17.8%
1株当たり中間純利益	67.15円	80.54円	+13.39円	—

月次売上高の推移【連結】

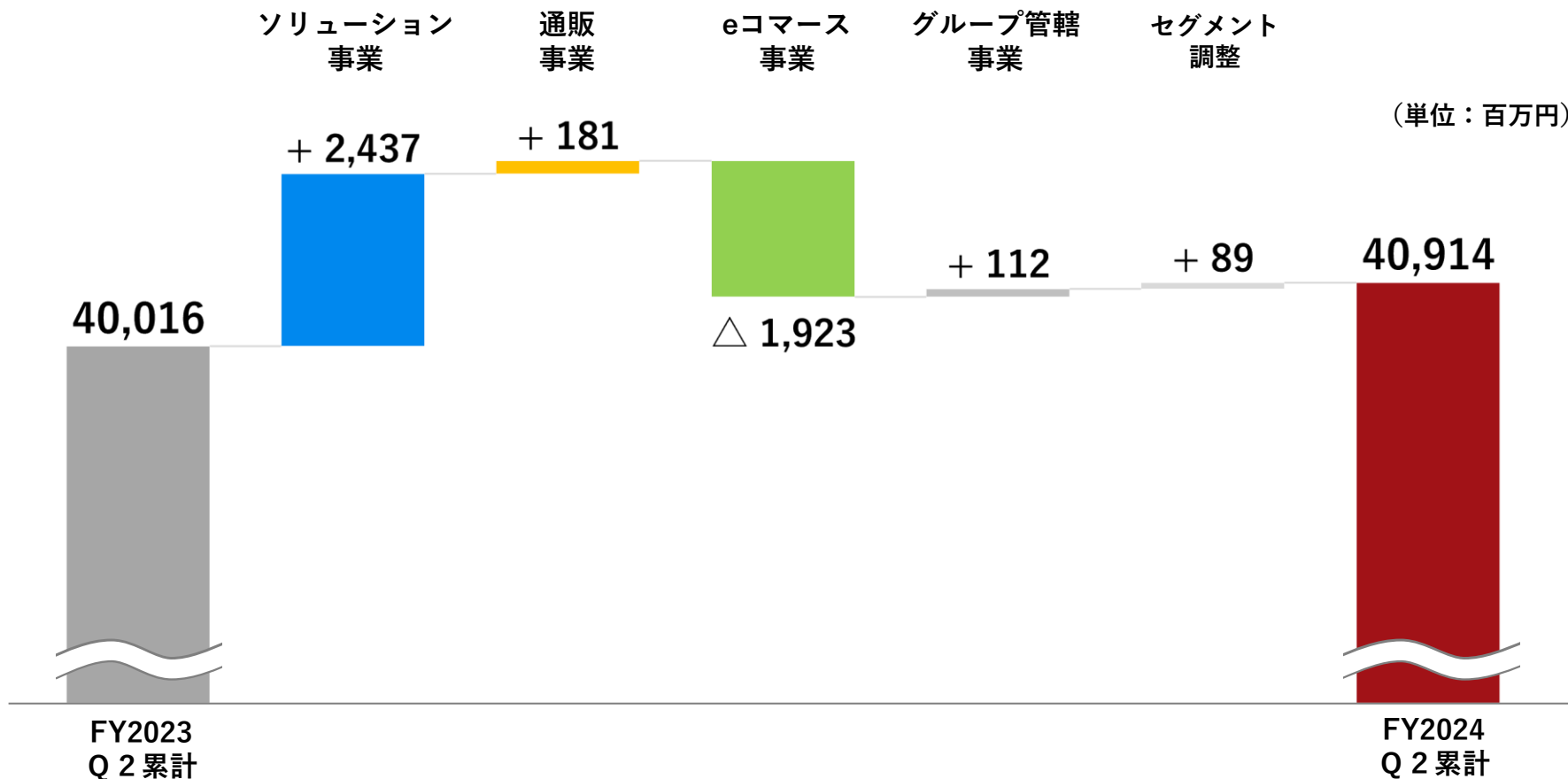
- 第2四半期の月次売上高は、おおむね前期を上回る水準で推移。

(単位：百万円)



売上高の増減分析【連結】

- ソリューション事業は成長を継続し、通販事業も堅調に推移。
- eコマース事業は事業リストラの影響により減収となるが、全体では増収。



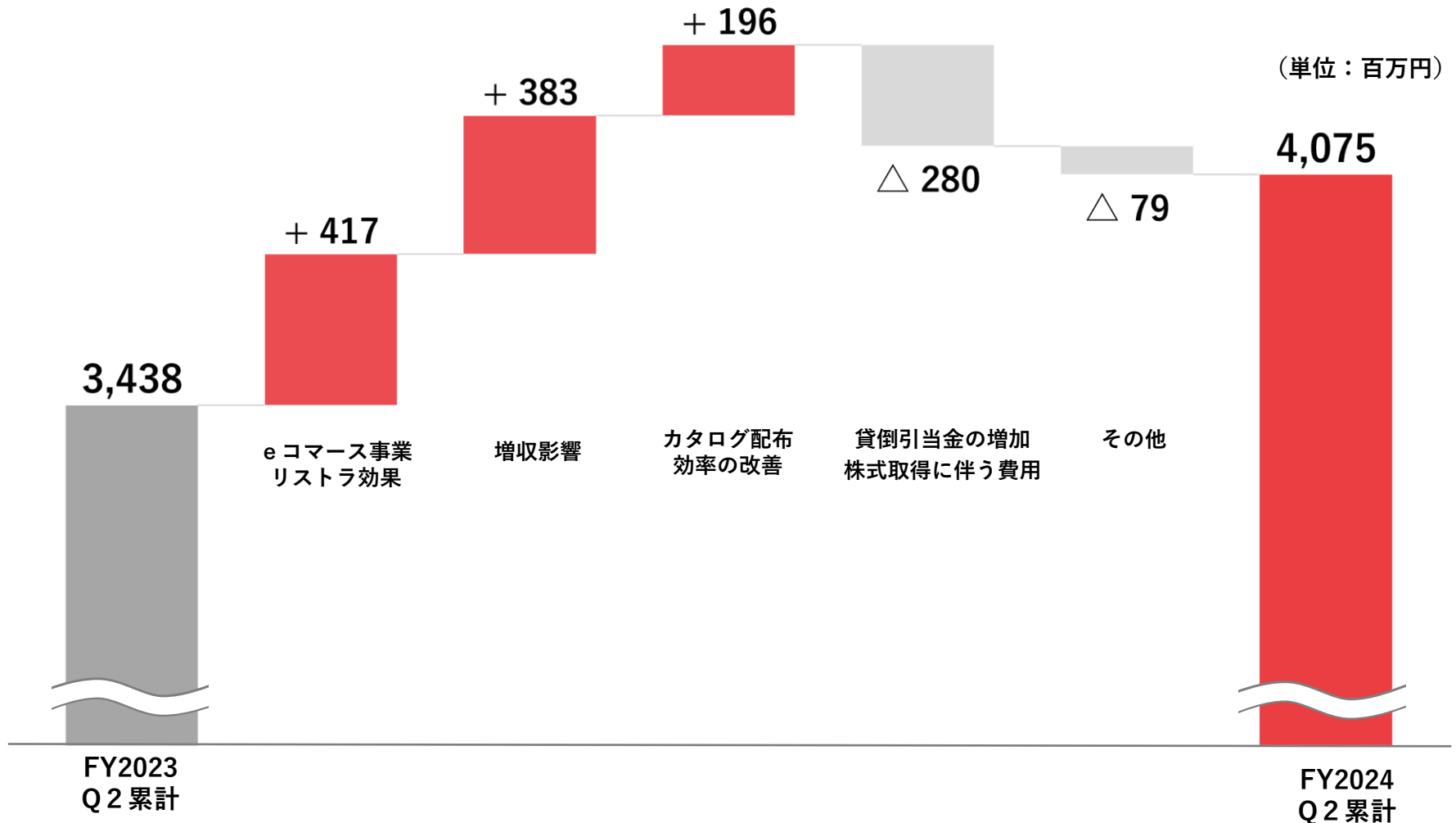
※ FY2024より報告セグメントを変更しております。(旧HBT事業をeコマース事業に統合)

前期比較につきましては、前年数値を変更後の報告セグメントに組み替えた数値で比較しています。

※ △は損失または減少を表します。以下、すべてのページにおいて同様に表記します。

経常利益の増減分析【連結】

- ・ eコマース事業のリストラ効果に加え、増収およびカタログ配布効率改善により増益。
- ・ ソリューション事業の業容拡大に伴う費用を計上。



セグメント別業績【2025年3月期第2四半期累計実績】

(単位：百万円)
※()内は前年同期比

売上高

セグメント利益

ソリューション事業

13,929
(+21.2%)375
(△6.2%)

増収減益

成長ドライバーとして増収、
決済代行の拡大に伴う引当金の計上
により減益

通販事業

20,748
(+0.9%)3,521
(+5.5%)

増収増益

夏・盛夏物の受注が底堅く推移、
コスト抑制策が奏功

eコマース事業

7,013
(△21.5%)41
(前年同期は△376)

減収増益

事業リストラにより規模縮小、
期間損益は黒字化

※ 当期より報告セグメントを変更しております。(旧HBT事業をeコマース事業に統合)

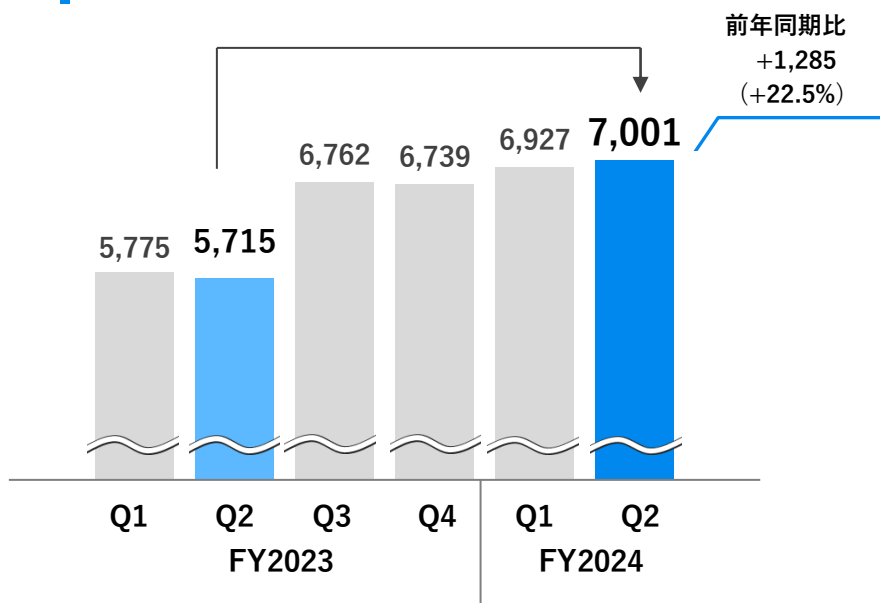
前期比較につきましては、前年数値を変更後の報告セグメントに組み替えた数値で比較しています。

ソリューション事業セグメント

- 各種サービスが伸長し増収、決済代行の拡大に伴う引当金の計上に伴い減益。

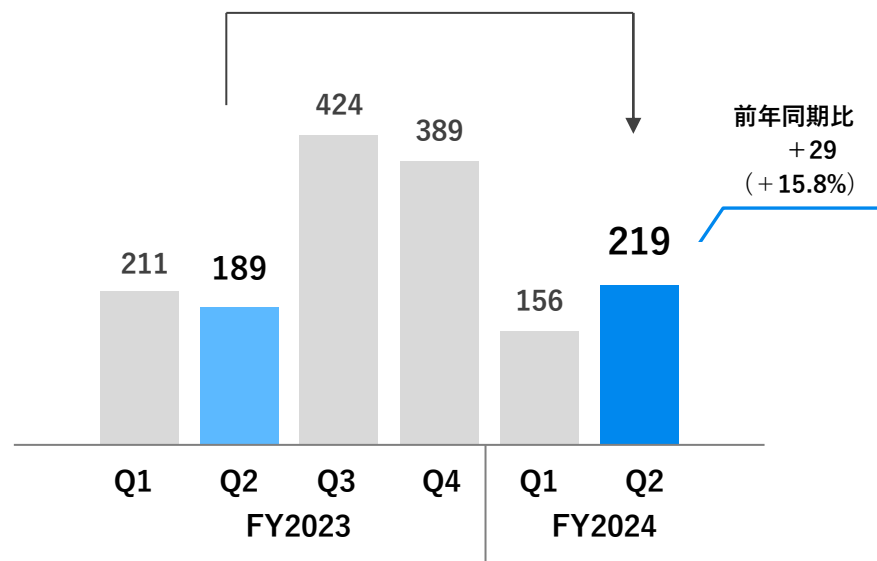
第2四半期	売上高：	13,929百万円	(前年同期比 +21.2%)
累計期間	セグメント利益：	375百万円	(前年同期比 △6.2%)

売上高 四半期推移



セグメント利益 四半期推移

(単位：百万円)

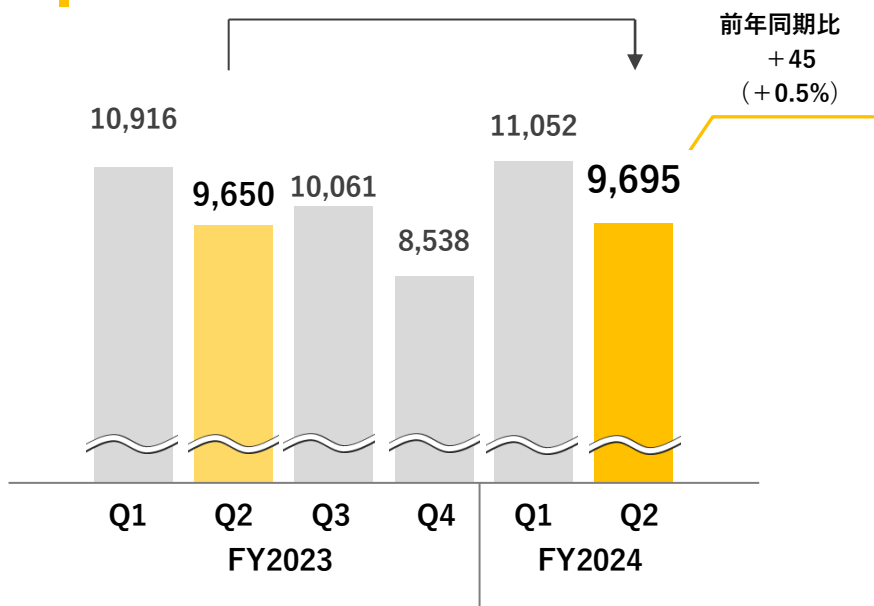


通販事業セグメント

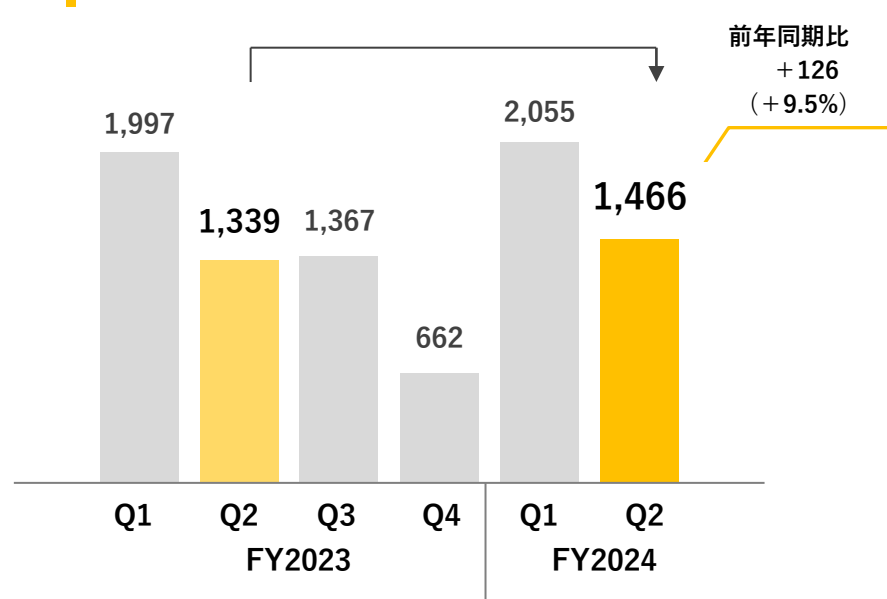
- 為替等調達コストが上がったものの、夏・盛夏物の受注が底堅く推移し、収益性を維持。

第2四半期 累計期間	売上高：	20,748百万円	(前年同期比 +0.9%)
	セグメント利益：	3,521百万円	(前年同期比 +5.5%)

売上高 四半期推移



セグメント利益 四半期推移 (単位：百万円)

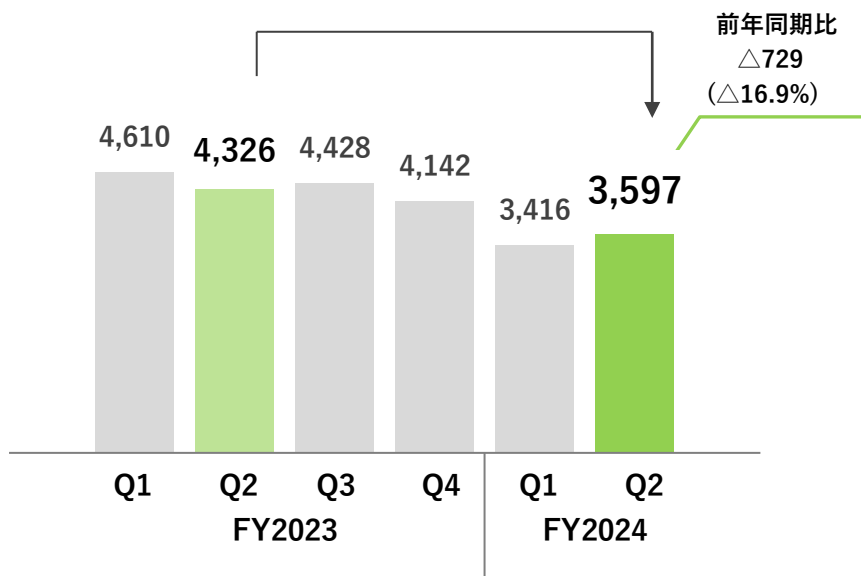


e コマース事業セグメント

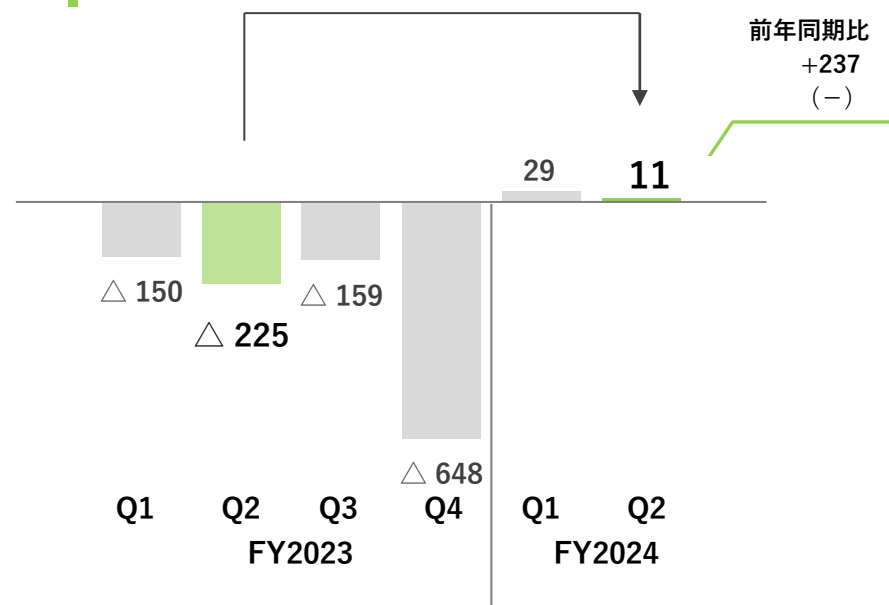
- 事業リストラにより規模が縮小、再編による運営費用圧縮で期間損益は黒字化。

第2四半期 累計期間	売上高：	7,013百万円	(前年同期比 $\Delta 21.5\%$)
	セグメント利益：	41百万円	(前年同期は $\Delta 376$ 百万円)

売上高 四半期推移



セグメント利益 四半期推移 (単位：百万円)



貸借対照表の推移【連結】

- 中間純利益の計上などにより、健全な財務状況を維持。

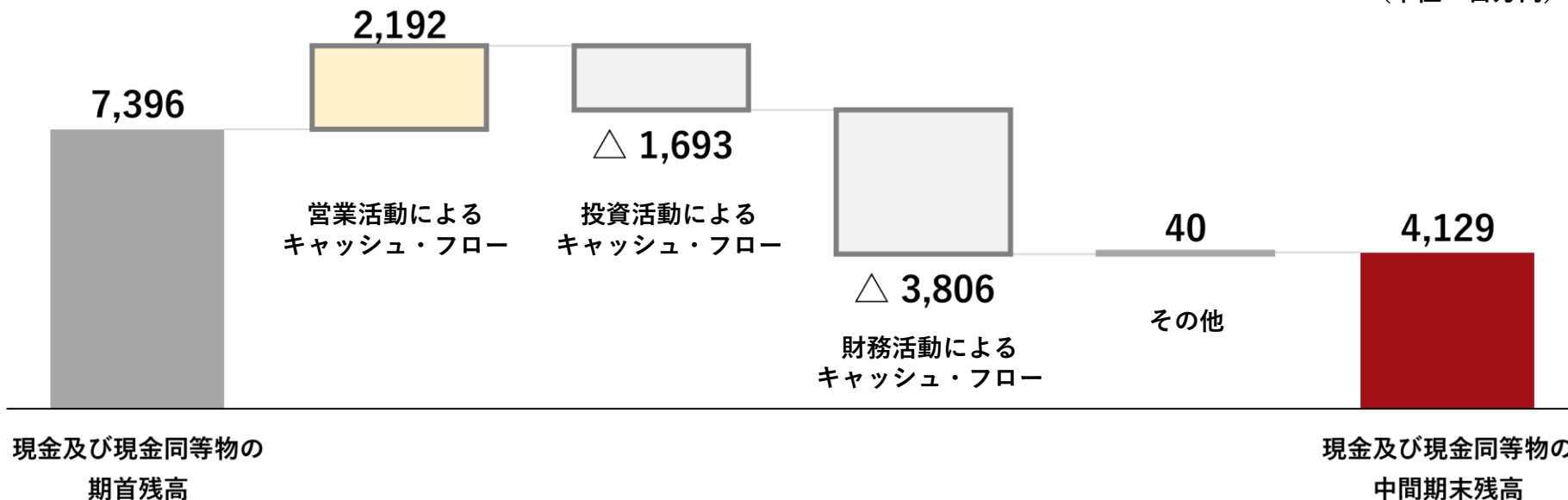
(単位：百万円)

	2024年3月期末	2025年3月期 第2四半期末	増減額	
				<主な増減項目>
流動資産	36,212	35,578	△633	
固定資産	17,046	17,114	+67	
資産合計	53,258	52,693	△565	現金及び預金 △2,267 売掛金 △814 未収入金 +1,431 棚卸資産 +1,360
流動負債	18,195	15,611	△2,583	
固定負債	1,679	1,738	+59	
負債合計	19,874	17,350	△2,523	借入金 △3,000
純資産合計	33,383	35,342	+1,958	配当金支払 △615 中間純利益 +2,764
負債純資産合計	53,258	52,693	△565	
自己資本比率	62.7%	67.1%	+4.4P	

キャッシュ・フローの状況【連結】

- 現金及び現金同等物の中間期末残高は、4,129百万円（前連結会計年度末比△3,267百万円）となる。

（単位：百万円）



<主な増減要因>

営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前中間純利益	+4,075
その他流動資産の増加額	△1,386
棚卸資産の増加額	△1,360

投資活動によるキャッシュ・フロー

連結子会社株式の取得による支出	△672
-----------------	------

財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入金の返済による支出	△3,165
配当金の支払額	△615

中期経営計画 「Marketing Solution 2026」進捗

Marketing Solution 2026

～DMS CからMSCへ～

FY2024 二大重点方針

成長軌道への回帰
～事業ポートフォリオの修正～

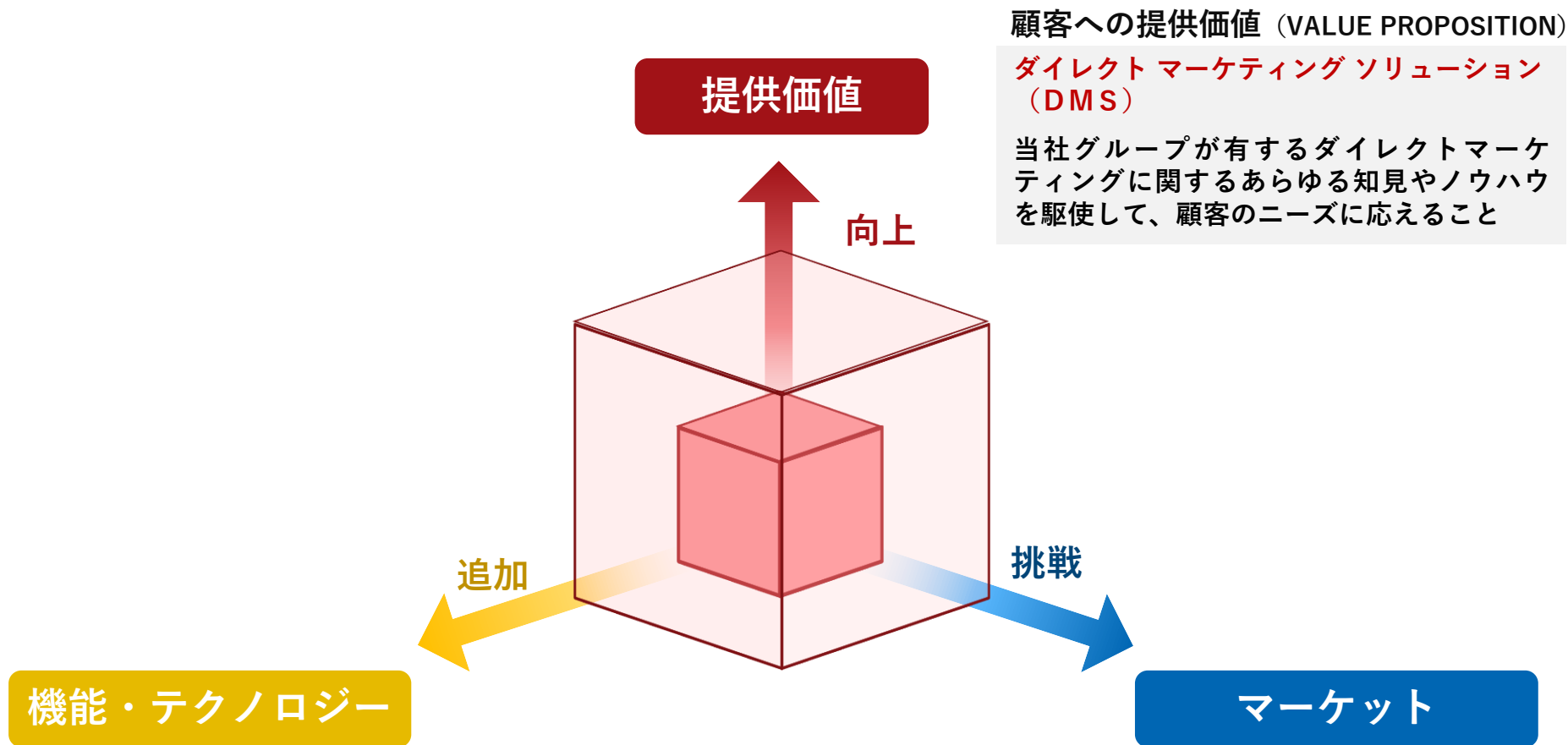
実効性のある
Responsibility経営の推進

定量目標

		FY2021	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025	FY2026
		実績	実績	実績	目標	目標	目標
売上高	[百万円]	81,391	81,018	79,826	80,000	85,000	90,000
前期対比成長率		△4.5%	△0.5%	△1.5%	+0.2%	+6.3%	+5.9%
経常利益	[百万円]	7,096	6,191	5,512	6,200	7,000	8,000
経常利益率		8.7%	7.6%	6.9%	7.8%	8.2%	8.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	[百万円]	5,585	4,170	3,649	4,200	4,800	5,400
自己資本利益率 (ROE)		19.7%	13.4%	11.2%	12.1%	12.7%	13.2%

当社グループの目指す姿～MSC～

- マーケット拡大に挑戦し、機能・テクノロジーを追加、提供価値を高めていくことで、既存の殻を破り、新たな企業体へと進化する。



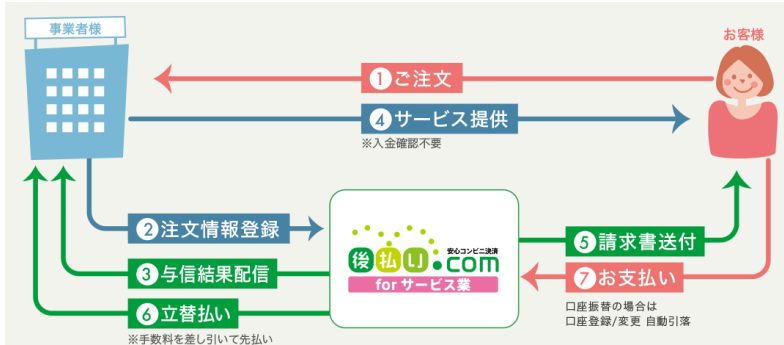
マーケットの拡大 EC・通販以外の市場へ進出

- サービスの提供先を、ダイレクトマーケティング(EC・通販)市場に限定せず、市場領域の拡大に挑戦。

後払い決済代行サービス

集金業務やコンビニ収納代行でお悩みの
あらゆる事業者様に対応

あらゆる業種でご利用可能な集金代行サービスを提供



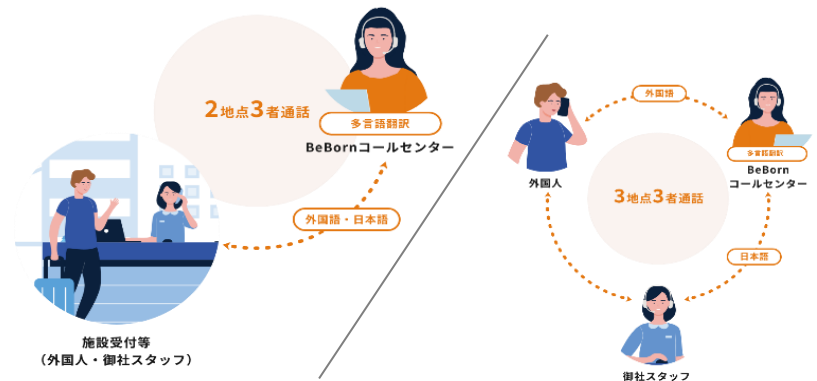
新たな市場

インフラ(ガス・電気)、宅配(水・牛乳)

BPO／コールセンターサービス

多言語同時通訳を強みとしたコールセンターを営む
株式会社ビーボーンを子会社化

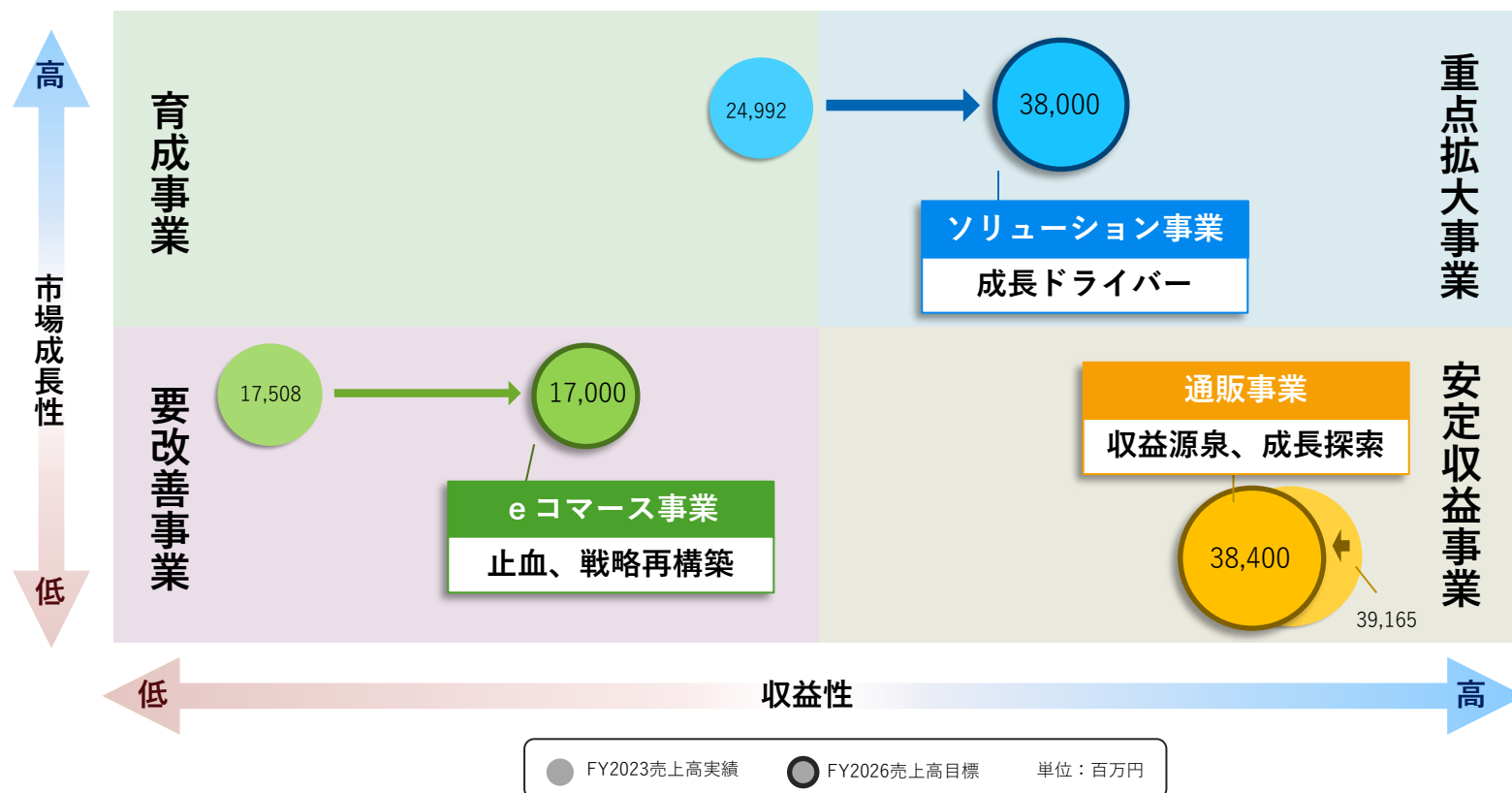
電話での同時通訳サービスを提供



官公庁、自治体、民間企業

成長軌道への回帰 事業ポートフォリオの修正

- ソリューション事業は、引き続き成長ドライバーとして育成。
- 通販事業は、収益を維持しつつ、新たなビジネスの種まきを実施。
- eコマース事業は組織再編や事業リストラにより損益改善を図る。



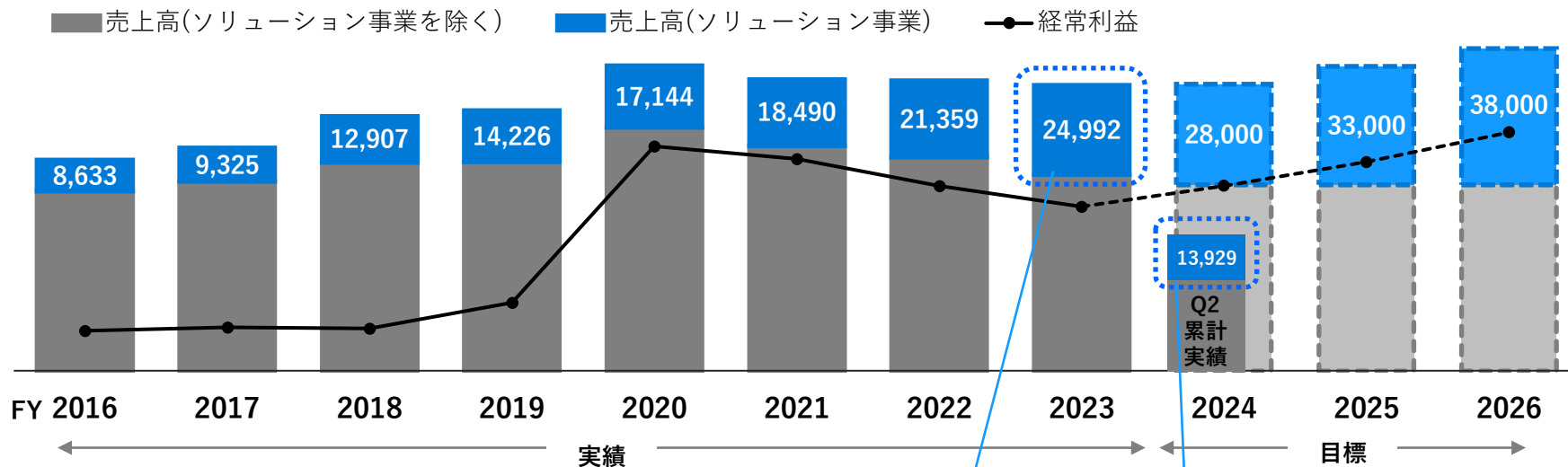
※ eコマース事業のFY2023実績数値は、旧HBT事業の数値を含んでおります。

成長軌道への回帰 ソリューション事業の成長

- ソリューション事業がグループの成長をけん引。
- サービス別の内訳では、マーケティングサポート、決済代行が成長。

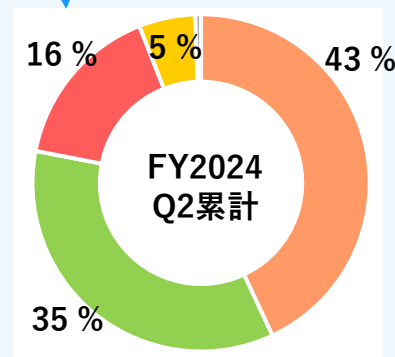
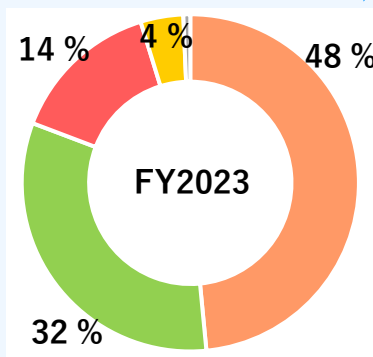
売上高推移 FY2016-FY2026(目標)

(単位：百万円)



ソリューション事業 売上構成比
FY2023、FY2024(Q2累計)

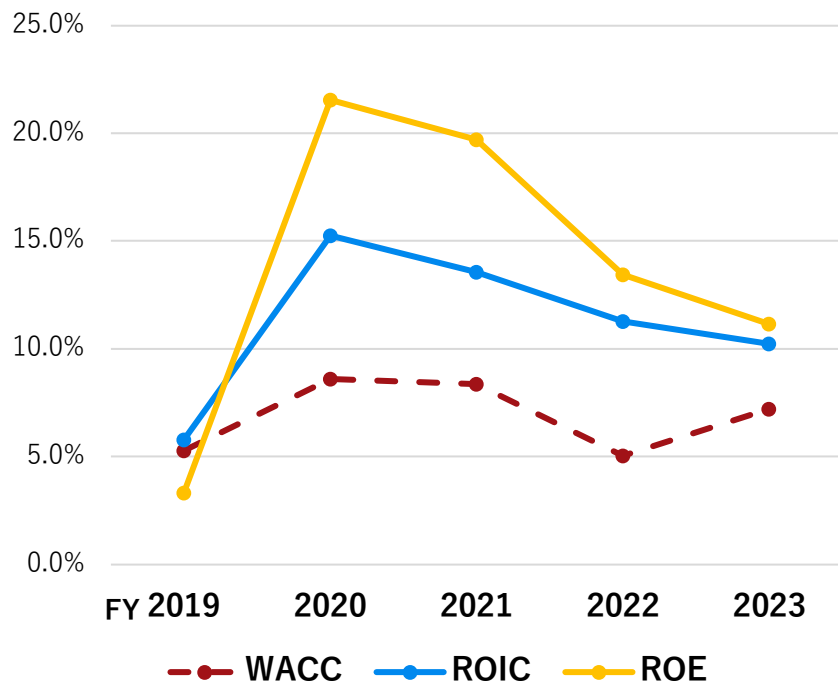
- 物流代行
- マーケティングサポート
- 決済代行
- BPO・受注代行



資本コストや株価を意識した経営の取組み

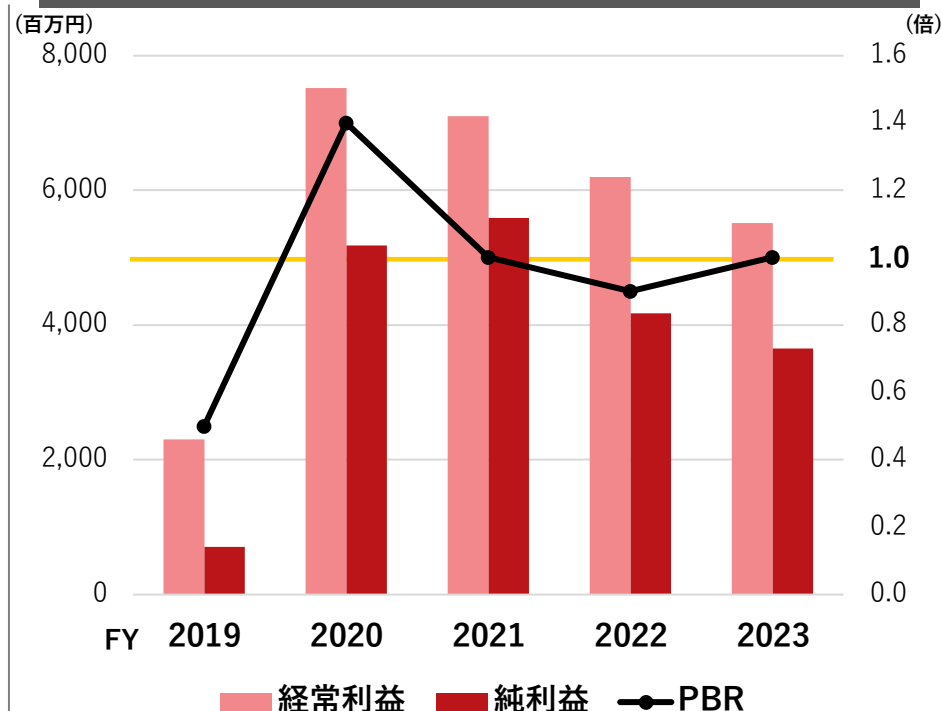
- 資本コストを上回る資本収益性を達成しているものの、市場からは低評価。

資本コストと資本収益性の推移



コロナ禍における巣ごもり需要と、主に通販事業において推進してきた事業構造改革の効果により、資本コストを上回る資本収益性を達成し、その後も高い水準で推移。

事業収益とPBR



コロナ特需の恩恵を受けた過去最高水準の事業収益以降、緩やかな下降トレンドから抜け出せず、「将来の成長性（継続性）が期待できない」と株式市場から低評価を受けていると認識。

資本コストや株価を意識した経営の取組み

- ソリューション事業をドライバーに成長軌道へ回帰し、市場からの評価を高める。
- 株主還元は、基本方針のもと、連結配当性向40%を堅持。

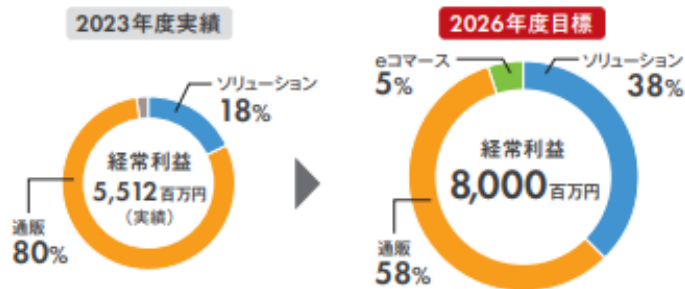
中期経営計画「Marketing Solution 2026」

2024年度 二大重点方針

成長軌道への回帰
～事業ポートフォリオの修正～

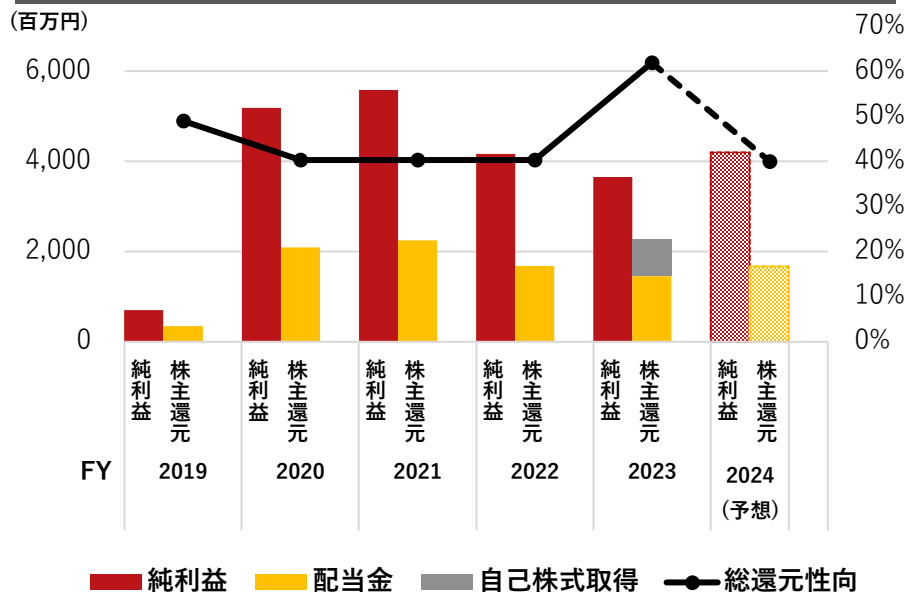
実効性のある
Responsibility経営の推進

マーケティングソリューションカンパニーへの進化



「成長軌道への回帰」および「実効性のあるResponsibility経営の推進」を二大重点方針とした「Marketing Solution 2026」を推進することで、持続的成長が可能な事業基盤を築き、株式市場からの評価を高める。

株主還元の推移



配当については、株主資本配当率（DOE）4%を下限とし、連結配当性向40%を目処として実施することを基本目標とする。
成長投資と安定的利益配分を実施したうえで、さらに長期にわたり留保された余剰資金については機動的に自己株式の買入れなどを行い、株主の皆様へ還元する。

2025年3月期 通期業績予想

2025年3月期 通期業績予想【連結】

- 前回（2024年5月9日）発表した通期業績予想数値に変更はございません。

（単位：百万円）

	2024年3月期 （実績）	2025年3月期 （予想）	対 前期実績	
			増減額	増減率
売上高	79,826	80,000	+173	+0.2%
営業利益 （営業利益率）	5,313 (6.7%)	6,000 (7.5%)	+686	+12.9%
経常利益 （経常利益率）	5,512 (6.9%)	6,200 (7.8%)	+687	+12.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,649	4,200	+550	+15.1%
ROE（自己資本利益率）	11.2%	12.1%	+0.9P	—

株主還元について

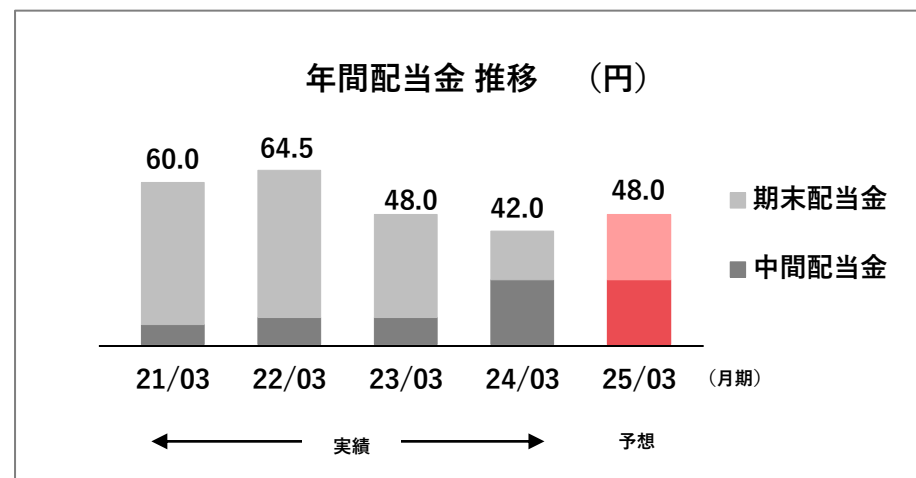
■株主還元に関する基本方針

- ・ 当社は、ROE重視の経営を推進し、直接的な利益還元と中長期的な株主価値の最大化を目指しております。
- ・ 配当につきましては、株主資本配当率（DOE）4%を下限とし、連結配当性向40%を目処として実施することを基本目標としております。
- ・ 内部留保につきましては、企業価値最大化を目的とした成長投資と安定的利益配分を実施したうえで、さらに長期にわたり留保された余剰資金については機動的に自己株式の買入れなどを行い、株主の皆さまに還元してまいります。

■2025年3月期 1株当たりの配当金（予想）

- ・ 当期の配当予想については、以下のとおりです。

中間配当金	24.0円
期末配当金	24.0円（予想）
年間配当金	48.0円（予想）



Appendix

- 会社概要
- 事業セグメントおよび事業概要
- サステナビリティ推進活動

会社概要

株式会社スクロール (Scroll Corporation)

- 本 社 : 静岡県浜松市中央区佐藤二丁目24番1号
代表取締役社長 : 鶴見 知久
設 立 : 1943年（昭和18年）10月1日
証券コード : 8005（東京証券取引所プライム市場）
資本金 : 6,116百万円（2024年9月30日現在）
主な事業内容 : EC・通販事業者へのソリューション事業
アパレル、雑貨等のEC・通販事業

スクロールグループは、

**MARKETING
SOLUTION
COMPANY**へ



事業セグメントおよび事業概要

ソリューション
事業

EC・通販事業者を360度サポートする「ワンストップソリューションサービス」を提供しています。



通販事業

主に生協宅配事業の組合員様向けに通信販売（カタログ・一部インターネット）を展開しています。



詩克樂商貿（上海）
有限公司

SCROLL
BANGLADESH
CO.,LTD.

e コマース事業

主に自社サイトやショッピングモールを通じて、専門特化した商品のインターネット販売を行っています。

AXES



木 草
果 花

グループ管轄
事業

全国各拠点の物流センター運営、不動産の有効活用、また海外現地法人による商品生産管理などの機能を担っています。



SCROLL VIETNAM
CO.,LTD.

サステナビリティ推進活動

- ・ 実効性のあるResponsibility経営の推進を継続

環境配慮、
脱炭素社会への
不断の取組み

■包装資材におけるプラ素材の削減

– 2030年度までに**65%**削減（2021年度対比）

⇒ **環境配慮素材「STONE-SHEET®」への切替えを開始**
 プラ素材使用量の削減目標達成に向け、
 2024年7月より商品包装袋を、
 従来のプラスチック製から
プラスチック使用量を50%未満に
 抑えた素材へ順次切替えを実施。



従来の商品包装袋



STONE-SHEET®製商品包装袋

STONE-SHEET®製商品包装袋

■女性の活躍推進

– 2025年度までにグループ全体、単体ともに女性管理職比率**30%**以上

⇒ 2024年9月30日 女性管理職比率 実績

スクロール単体 31.7% グループ全体 26.5%

タスク・ダイバーシティ
経営の推進

通販まるごとソリューション



お問合せ窓口

経営統括部 経営企画課

TEL : 053-464-1114 (直通)

E-mail : ir@mb.scroll.jp

ホームページアドレス <https://www.scroll.jp/>

■将来の見通しに関する注意事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。